

未来へ(東中だより)

第8号 令和3年8月26日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:89-2079

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

学ぶこと・働くこと・世界を広げること 8月25日 始業式の話から

実り多い2学期のために、今日は学ぶことや働くこと、たくましく生きることに関係のある話をします。

「科学、誠実、デザイン、雨、仮想、牛、ロス、#、IQ」。これは何だと思いますか。

実は、これは旭化成という会社の今年のエントリーシート(就職試験を受けるための受付シート)の一部です。このあとに、問題が続きます。「9つのワードのうち3つ以上のワードを用いて、自由に文章を作成してください。」という問題です。皆さんだったらどうしますか。

第一、なぜこんな問題が出されるのでしょうか。

私が考えるに、旭化成のエントリーシートの「ねらい」は、発想する力＝想像力と創造力があるか、自分で考える力＝思考力があるか、関連付ける力＝柔軟性があるかといったことを見たいのだろうと思います。AIにできないことをやってのけられるかということです。

それぞれの教科で学ぶ一つひとつの知識・技能は大切なものです。そしてその知識・技能を活用しようとするところに、「学ぶこと」の本質があります。

今、活用すると言いましたが、最も効果的な活用は、他の分野と「関連付ける」ことです。数学で学んだ計算が建築や美術に、理科で学んだ化学反応が文学に活用されると、とてもおもしろいものが生まれることでしょう。知の世界の広がりは無敵大です。

実際にいろんな分野と関連付けてコラボすることで、急成長している会社が佐賀にあります。「オプティム」という会社です。2000年に佐賀大学の菅谷君という学生が作った会社です。最初はインターネットの設定サービスをやり、それから生活に便利な様々なアプリを開発して、今ではAIの開発やドローンの活用をする成長著しい企業です。

彼らの発想は、「〇〇×IT」。例えば「農業×IT」「教育×IT」「金融×IT」「災害復旧×IT」というように、いろんな産業や仕事とITを掛け合わせると、面白いことや人々のためになることが出来るというわけです。そして実際に、この会社は多くの人々や会社を助け、自らも企業として成長しています。

AIやロボットの開発により、現在ある仕事の半分はなくなってしまうと言われています。そんなこれからの社会ですが、なくなる仕事があれば、新たに生み出される仕事もあります。そういう社会を生きていく皆さんを、私は大変うらやましく思います。

物事を「関連付けて」考える。そこから学びや仕事は広がっていき、面白くなります。その基礎固めを今皆さんは行っています。3年生は高校入試に向けてギアを一つ入れ替えていく時期です。この学びの先に、ワクワクする将来が待っています。ひょっとしたらこの学びの中に、将来やることの芽があるかもしれません。



3年生に限らず、1, 2年生もこの先の可能性に向けて、実り多い2学期にしてください。積極的な学期になることを期待しています。

旭化成 2021年のエントリーシート
「科学、誠実、デザイン、雨、
仮想、牛、ロス、#、IQ」

9つのワードのうち3つ以上の
ワードを用いて、自由に200字
以内の文章を作成してください。
物語、詩、自分の考えなどどんな
内容、表現方法でも結構です。

旭化成 エントリーシートの
「ねらい」は？

発想する力＝想像力と創造力

自分で考える力＝思考力

関連付ける力＝柔軟性

AIにできない
ことを

「〇〇×IT」

- ・「農業×IT」
- ・「教育×IT」
- ・「金融×IT」
- ・「災害復旧×IT」 など



OPTIM

☆表彰☆

- ・佐賀県中学校卓球競技大会
女子団体 優勝 個人3位 山本結月
- ・佐賀県中学校ソフトテニス競技大会
男子個人 3位 門田幸輝・宮原優來
- ・ニツタク杯卓球選手権大会 2位 平陵太郎
- ・スポーツエリートアカデミーSAGA
強化指定選手 中村純心 山崎姫楽
- ・神埼地区学年別ソフトテニス競技大会
1年の部 1位 中島・福井 2位 香田・宮原
2年の部 1位 原・門田 2位 中山・小池
3位 青木・久野